

みんなで防ごう、高齢者虐待

近年高齢者が家族など身近な介護者から虐待を受ける高齢者虐待が社会問題となっています。
いの町でも平成25年度に25件、平成26年度に70件の相談・通報がありました。

こんなことが高齢者虐待になります

身体的虐待	たたく、つねる、殴る、蹴る など
心理的虐待	子ども扱いする、怒鳴る、悪口をいう、意図的に無視する など
性的虐待	懲罰的に下半身を裸にして放置する、わいせつな行為をする など
経済的虐待	必要な金銭を渡さない・使わせない、本人の自宅等を無断で売却する、年金や預貯金を本人の意思・利益に反して使用する など
介護・世話の放棄放任	入浴や排泄などの世話をしない、食事・水分を十分に与えない、必要な医療・福祉サービスを利用させない、劣悪な住環境で生活させる など

高齢者虐待を防ぐために

高齢者虐待の背景には、認知症などの疾患、家族の介護負担、経済困窮、地域との関わり希薄さなどの問題が重複している場合があります。高齢者とその家族が地域で孤立せず、誰もが安心して暮らせるために、地域の皆さんの気づき・見守り・声かけが大きな力となります。

「もしかしたら高齢者虐待」と思えば、
地域包括支援センターへ相談してください。
相談者の情報は守秘義務で守られます。

■ほけん福祉課（すこやかセンター伊野内）
地域包括支援センター ☎893-0231

みんなで防ごう、児童虐待「189」 いちはやく

「あの子もしかしたら虐待を受けているのかしら」
「子育てが辛くてつい子どもにあたってしまう」
「近くに子育てに悩んでいる人がいる」
こんなときには、すぐ児童相談所全国共通ダイヤルの189番にお電話ください。

189番にお電話していただくと、高知県中央児童相談所につながり、専門的な方が対応します。
※携帯電話を使用の場合は、ガイダンスに沿ってお住まいの郵便番号などを入力するとつながります。
※一部のIP電話はつながりません。

こんなことが児童虐待になります

身体的虐待	殴る、蹴る、たたく、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる など
心理的虐待	言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(DV) など
性的虐待	子どもへの性的行為。性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など
放棄・放任	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する など

高知オレンジリボンキャンペーン2015 たすきリレーのお知らせ

高知オレンジリボンキャンペーン2015は、11月の児童虐待防止推進月間に、シンボルマークのオレンジリボンを広く県民の皆さんに浸透させ、家庭や学校、地域など社会全体の児童虐待問題に対する理解と関心を得ることを目的として実施するものです。

今年度は、11月8日（日）に、県内東西2つのコースに分かれて、たすきリレーを開催します。オレンジリボンに込められた「子ども虐待のない社会の実現」への思いを胸に、ランナーが、たすきをつないで

走ります。

いの町の中継ポイントは「仁淀川橋 西側」、「JRいの駅」の2か所で、ランナーの皆さんが、12:00～12:30ごろ、オレンジ色のたすきを胸に国道33号沿いを走ります。多くの皆さんに沿道でのランナーへのご声援をお願いします。

■問い合わせ 児童家庭支援センターひだまり
☎0889-20-0203